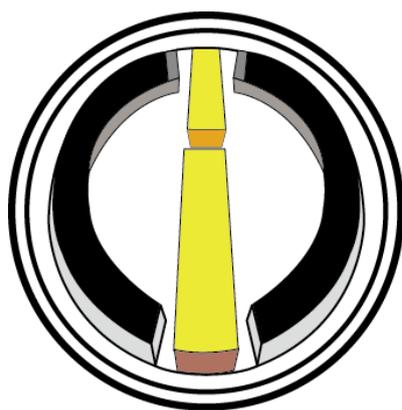


令和3年度

# 授業改善推進プラン



府中市立府中第八中学校

< 1 年 >

現状と課題	具体的な改善策	学びに向かう力等を育むための方策
<p>&lt;強み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に意欲的に取り組んでいる。</li> <li>・自分の考えを表現の仕方を工夫して伝えようとしている。</li> <li>・文章を書くことに意欲的である。</li> </ul> <p>&lt;弱み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・語彙が少ない。</li> <li>・文章の読み取りの正確性が低い。</li> <li>・課題に対し、筆者の主張をや資料を踏まえて作文することが苦手である。</li> </ul>	<p>&lt;どういう力を身に付けさせたいか&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・語彙を豊富にし、課題を正確に読み取り、自分の考えを述べることができるようにする。そして、理解したことを自分の言葉で表現できるようにする。</li> <li>・主体的に考えを深め、具体的に書くことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カードを配布し、単元の取組の過程を可視化する。</li> <li>・言葉や表現に着目させ、その効果を吟味させ、評価する活動を行う。</li> <li>・課題を正しく読み取り、自分の考えを相手にわかりやすく伝えるために、課題作文の練習を行う。</li> <li>・漢字テスト、語句の意味調べを行う。</li> </ul>

< 2 年 >

現状と課題	具体的な改善策	学びに向かう力等を育むための方策
<p>&lt;強み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の課題に真面目に取り組む。</li> <li>・話し合い、発表に前向きな人が授業に活気を与えている。</li> </ul> <p>&lt;弱み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書き言葉で表現すること</li> <li>・漢字の書きとりの取り組み</li> <li>・語彙力</li> </ul>	<p>&lt;どういう力を身に付けさせたいか&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に考え、明確に表現できる力、他者と意見を交流し、考えを深められる力を身に付けさせたい。</li> <li>・「書く力」 テーマに沿って根拠（体験）と意見が合致した作文を書けるようにする。</li> <li>・筆順も取り入れた漢字の書きに毎時取り組ませ、定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートの工夫。</li> <li>・教材の主題や意図に導く授業展開の後、作文を書かせる。</li> <li>・各自の作文を添削する。模範作文を紹介し、書き直しをさせる。</li> <li>・毎時10分ほど漢字練習（空書き→指書き→筆記）に取り組ませる。漢字冊子2頁実施毎に小テストを1回実施する。</li> </ul>

< 3 年 >

現状と課題	具体的な改善策	学びに向かう力等を育むための方策
<p>&lt;強み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的に授業に取り組んでいる。</li> <li>・自分の考えを表現している。</li> <li>・書くことをいとわない。</li> </ul> <p>&lt;弱み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・語彙が少なく、習った漢字を日常生活に生かすことができない。</li> <li>・文章を正確に読み取れない。</li> <li>・表現の仕方を工夫して文章を書くことが苦手である。</li> </ul>	<p>&lt;どういう力を身に付けさせたいか&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで文章を読み、語彙を豊富にし、文章表現に生かすことができるようにする。また、正確に理解した内容を基に、自分の考えを持ち、それを表現できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを用いて、学習全体の過程を一覧できるようにする。</li> <li>・言葉や表現に着目させ、読み取った内容を確認させる。</li> <li>・伝える目的や伝える相手を明確にし、適切な言葉と表現を用いて、短作文を書かせる。</li> <li>・漢字練習、語句の意味調べを行う。</li> </ul>

< 1 年 >

現状と課題	具体的な改善策	学びに向かう力等を育むための方策
<p>&lt;強み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に対する学習意欲が高く、課題に対して主体的に取り組むことができる。</li> <li>・自分の考えがしっかり書ける。</li> </ul> <p>&lt;弱み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「社会的な思考・判断・表現」の部分では、複数の資料や知識を活用して考え、説明することが苦手な生徒が多い。</li> </ul>	<p>&lt;どういう力を身に付けさせたいか&gt;</p> <p>【社会的な知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的・基本的な知識を習得する。</li> <li>・地図、統計資料、写真などから情報を読み取る力を身に付ける。</li> </ul> <p>【社会的な思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・習得した知識や技能や経験を活用して、自分の言葉で概念を形成する力と応用力を身に付ける。</li> </ul>	<p>&lt;歴史的分野&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の導入時の学習の見通しを立てる活動や、単元末において自らの学習の振り返りを行う活動を行い、学習内容の確かな理解と定着を図る。</li> </ul> <p>&lt;地理的分野&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を収集して読み取る活動や、これを基にして考察や、判断した結果を表現する活動を行い、議論などを通して互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させるなどを通して思考力、判断力、表現力を育成する。</li> <li>・ICTの活用を積極的に図る。</li> </ul>

< 2 年 >

現状と課題	具体的な改善策	学びに向かう力等を育むための方策
<p>&lt;強み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃からニュース等をよく見る生徒が多く、社会に対する関心は高いと言える。また、資料を活用し事象を多面的・多角的に考察し、判断する力は高い。</li> </ul> <p>&lt;弱み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的事象に対し、自ら課題を見出し、その解決の方法を多面的・多角的に考察して、適切に表現する力を伸ばす必要がある。</li> </ul>	<p>&lt;どういう力を身に付けさせたいか&gt;</p> <p>【社会的な知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的事象の意義や特色、相互の関連性まで結びつけられるような理解力の構築。</li> </ul> <p>【社会的な思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的事象に対し、自ら課題を見出し、その解決の方法を多面的・多角的に考察して、適切に表現する力。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの住んでいる地域や歴史と自分たちのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的・対話的で深い学びの視点から学習過程の改善を行う。「深い学び」の中核が「見方・考え方」であることを踏まえ、「見方・考え方」を働かせた学びを実現する授業実践を行い「主体的・対話的で深い学び」につなげる。</li> </ul> <p>&lt;地理的分野&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的事象を、空間的な広がりに着目して捉え、主に世界的な地域環境条件や地域間の結びつきの中で人間の営みについて関連付ける。</li> </ul> <p>&lt;歴史的分野&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的事象を時期、推移などに着目して捉え、類似や差異などを明確にしたり、事象同士を因果関係などで関連付けたりする。</li> <li>・ICTの活用を積極的に図る。</li> </ul>

< 3 年 >

現状と課題	具体的な改善策	学びに向かう力等を育むための方策
<p>&lt;強み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に集中して取り組むことができる。</li> <li>・意欲的に発言できる。</li> </ul> <p>&lt;弱み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを表現する力が十分に伸びていない。</li> <li>・資料の読み取りや表現の力が十分に伸びていない。</li> <li>・既習内容の応用力が十分に伸びていない。</li> </ul>	<p>&lt;どういう力を身に付けさせたいか&gt;</p> <p>【社会的な知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的・基本的な知識を習得する。</li> <li>・歴史資料、統計資料、写真などから情報を読み取る力を身に付ける。</li> </ul> <p>【社会的な思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・習得した知識や技能や経験を活用して、自分の言葉で概念を形成する力と応用力を身に付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的・対話的で深い学びの視点から学習過程の改善を行う。「深い学び」の中核が「見方・考え方」であることを踏まえ、「見方・考え方」を働かせた学びを実現する授業実践を行い「主体的・対話的で深い学び」につなげる。</li> </ul> <p>&lt;歴史的分野&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的事象を時期、推移などに着目して捉え、事象が起こった理由などについて明確にさせ、説明させる中で歴史的背景を捉えさせる。</li> </ul> <p>&lt;公民的分野&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を収集して読み取る活動や、これを基にして考察や、判断した結果を表現する活動を行い、議論などを通して互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させるなどを通して思考力、判断力、表現力を育成する。</li> </ul>

< 1 年 >

現状と課題	具体的な改善策	学びに向かう力等を育むための方策
<p>&lt;強み&gt;</p> <p>ねばり強さ（平均達成率 89.2%）</p> <p>メタ認知力（平均達成率 81.5%）</p> <p>知識・技能（平均達成率 75.2%）</p> <p>&lt;弱み&gt;</p> <p>学習調整力（平均達成率 41.3%）</p> <p>思考力・判断力・表現力 （平均達成率 41.5%）</p>	<p>&lt;どういう力を身に付けさせたいか&gt;</p> <p>&lt;学習調整力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のつながりを意識できるような振り返りシートに改善する。</li> </ul> <p>&lt;思考力・判断力・表現力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の解法を比較したり検討する活動を授業内で設定する。</li> <li>・コロナ禍ではあるが、感染対策を取りながら集団で話し合う活動を設定する。</li> </ul>	<p>学びに向かう力等を育むための方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、粘り強さを育むために確認テストとそのやり直しを取り組ませる。</li> <li>・学習調整力を育むために、学習のつながりを意識できるような振り返りシートを用意し、毎授業取り組ませる。</li> </ul>

< 2 年 >

現状と課題	具体的な改善策	学びに向かう力等を育むための方策
<p>&lt;強み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な計算力は概ね身に付いている。</li> <li>・授業に対しての姿勢は真面目に取り組んでいる。</li> </ul> <p>&lt;弱み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業での理解はあるものの、家庭学習が身に付いていない生徒もいる。定着度合いにも差が出てきている。</li> </ul>	<p>&lt;どういう力を身に付けさせたいか&gt;</p> <p>&lt;数量や図形などについて数学的に表現・処理する技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プリントや問題集を活用し、反復練習を行わせる。</li> <li>・小单元ごとに小テストを行い、定着出来ていない生徒には個別に対応する。</li> </ul> <p>&lt;事象を、数学を活用して論理的に考察したり、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したりする力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スモールステップに分けたプリントやミニテストを実施し、学んだ知識、技能を的確に表現できるようにする。</li> </ul>	<p>学びに向かう力等を育むための方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習を充実させるために計画的に課題を出すことで、生徒の理解した内容を定着できるようにする。</li> <li>・毎授業ごとに、めあてと振り返りを記入し、身に付けたものを明確にする。また、単元のまとめレポートで振り返りをし、表現する機会を設けることで、生徒の主体的に学習に取り組む態度を育成する。</li> </ul>

< 3 年 >

現状と課題	具体的な改善策	学びに向かう力等を育むための方策
<p>&lt;強み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な計算力は概ね身に付いている。</li> <li>・授業に対しての姿勢は真面目に取り組んでいる。</li> </ul> <p>&lt;弱み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習の不足から、授業で理解できたことが、定着できていない生徒がいる。</li> <li>・思考・判断・表現の観点の達成率が低い。</li> </ul>	<p>&lt;どういう力を身に付けさせたいか&gt;</p> <p>&lt;数学的に表現・処理したりする技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習課題を出し、授業の始めに確認する。</li> </ul> <p>&lt;事象を、数学を活用して論理的に考察したり、数量や図形などの性質を見出し統合的・発展的に考察したりする力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の中で様々な解法を紹介したり、話し合ったりする活動を取り入れる。</li> </ul>	<p>学びに向かう力等を育むための方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習を充実させるために計画的に課題を出すことで、生徒の理解した内容を定着できるようにする。</li> <li>・振り返りレポートを用い、学んだ内容をまとめ・表現する機会を設けることで、生徒の主体的に学習に取り組む態度を育成する。</li> <li>・授業で、多様な考えを認め、より良く問題解決しようとする場面を設定する。</li> </ul>

< 1 年 >

現状と課題	具体的な改善策	学びに向かう力等を育むための方策
<p>&lt;強み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多くの生徒が授業に対して真面目に取り組み、また、発言もする。</li> <li>授業中の教師の説明をメモする生徒が多い。</li> </ul> <p>&lt;弱み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>科学的な思考、表現を苦手とする生徒が多い。(観察、実験データを論理的に考察できない。)</li> <li>基礎、基本の定着していない生徒もいる。</li> </ul>	<p>&lt;どういう力を身に付けさせたいか&gt;</p> <p>◇「知識・技能」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎・基本の知識を身に付け、科学的に探究する力を養う。</li> <li>観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。</li> </ul> <p>◇「科学的な思考・表現」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観察・実験データの読み取り方を理解し、論理的な考察を養う。</li> <li>自らの論理を、自らの言葉で表現する。</li> </ul>	<p>◇授業の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的な思考から論理的な思考へ移行できる内容。</li> <li>思考の過程を自らの言葉で文章として表現するレポートを作成。</li> <li>本時のめあてを明確にして学習への見通しを立てさせる。</li> <li>小テストを設定し学習の定着をさせる。</li> </ul> <p>◇ICTの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業の見える化を図る。</li> <li>自身の学習活動の共有化を図る。</li> </ul>

< 2 年 >

現状と課題	具体的な改善策	学びに向かう力等を育むための方策
<p>&lt;強み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意欲的に授業に参加している生徒が多く、発言や話し合い活動が活発である。板書以外をメモする生徒も多い。</li> </ul> <p>&lt;弱み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>知識の定着とその活用に課題がみられる。</li> <li>計算問題に苦手意識をもっている生徒が多い。</li> </ul>	<p>&lt;どういう力を身に付けさせたいか&gt;</p> <p>◇「知識・技能」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小テストを繰り返し行うことで知識の定着を図るとともに、様々な活用例を紹介することで、多角的に物事を見る力を養う。</li> </ul> <p>◇「科学的な思考・表現」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>計算問題は、簡単な整数の四則演算で解ける問題で、公式の意味を理解させ、その後、段階的に実践的な数値の計算に移行していく。</li> </ul>	<p>◇授業の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元や項目ごとに「まとめレポート」を作成させ、生徒同士で見せ合うことを繰り返すことによって、より良いレポートを書くための創意工夫や試行錯誤を、生徒が主体的に行うようにさせる。</li> </ul> <p>◇ICTの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ICTを活用することによって、生徒の興味、関心を高め、視覚的に理解させる場面を増やす。</li> </ul>

< 3 年 >

現状と課題	具体的な改善策	学びに向かう力等を育むための方策
<p>&lt;強み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多くの生徒が授業に対して真面目に取り組み、また、発言もする。</li> <li>授業中の教師の説明をメモする生徒がいる。</li> </ul> <p>&lt;弱み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>科学的な思考、表現を苦手とする生徒が多い。(観察・実験データを論理的に考察できていない。)</li> <li>自然現象への知識、理解が不足している。(基礎・基本の定着不足)</li> </ul>	<p>&lt;どういう力を身に付けさせたいか&gt;</p> <p>◇「知識・技能」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎・基本の知識を身に付け、科学的に探究する力を養う。</li> <li>観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。</li> </ul> <p>◇「科学的な思考・表現」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観察、実験データの読み取り方を理解し、論理的な考察を養う。</li> <li>自らの論理を、自らの言葉で表現する。</li> </ul>	<p>◇授業プリントの工夫(下記内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>仮説を立て見通しを持った観察・実験を行う内容。</li> <li>基礎的な思考から論理的な思考へ移行できる内容。</li> <li>思考の過程を自らの言葉で文章として表現する内容。</li> <li>復習的な内容と、本時の学習が理解できる学習ポイントの内容。</li> </ul> <p>◇ICTの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業の可視化を図る。</li> </ul>

## ＜ 1 年 ＞

現状と課題	具体的な改善策	学びに向かう力等を育むための方策
<p>＜強み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に真面目に取り組み楽しんで歌唱活動ができる。</li> <li>・積極的に発言できる。</li> </ul> <p>＜弱み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい発声が身に付いていない。</li> </ul>	<p>＜どういう力を身に付けさせたいか＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい発声を身に付けさせ、男子は変声期を上手に乗り越えさせて歌うことへの抵抗をなくしたい。</li> <li>・表現をどのように工夫するかを言語化して伝えあえるような力を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発声のメカニズムを理解させ、正しい発声を身に付けることに意欲をもたせる。</li> <li>・パート練習で表現の工夫について話し合いをさせて意見を出し合えるようにする。</li> <li>・鑑賞を通して歌唱の素晴らしさを味わわせる。</li> </ul>

## ＜ 2 年 ＞

現状と課題	具体的な改善策	学びに向かう力等を育むための方策
<p>＜強み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・素直に学び、楽しんで歌唱活動に励むことができる。前向き。</li> </ul> <p>＜弱み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの学び（知識）を生かしてきれていない。</li> <li>・声を出すことに抵抗のある生徒がいる。</li> </ul>	<p>＜どういう力を身に付けさせたいか＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽表現や鑑賞の解釈について言語能力を高めていきたい。</li> <li>・主体的に学習を進められる力を付けさせ、話し合いを深めて創意工夫する力を付けさせたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パートでの話し合いや発表を通して楽譜への書き込みを定着させる。多くの曲に触れさせ、表現したいことが自分で理解できるようにしていく。</li> <li>・合唱コンクールに向けてクラスで一つのものを作り上げるよろこびを感じさせ、達成感を味わえるようにする。</li> </ul>

## ＜ 3 年 ＞

現状と課題	具体的な改善策	学びに向かう力等を育むための方策
<p>＜強み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱活動に楽しみながら熱心に取り組める。</li> </ul> <p>＜弱み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽典や音楽史など知識に関することに対して、苦手意識をもつ生徒がいる。</li> </ul>	<p>＜どういう力を身に付けさせたいか＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を聴くことや演奏することが生活の中の楽しみになることを理解させる。</li> <li>・3学期の最後の合唱コンクールに向けて自分たちの力で曲を創り上げる喜びを感じ、合唱の良さを感じさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パート練習を通して表現の工夫をどのようにするのか意見を出し合い、全体で発表させる。</li> <li>・良い音楽に触れる機会を作り、音楽の良さに気付かせる。</li> </ul>

< 1 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p>&lt;強み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>制作に集中して、前向きに取り組む生徒が多い。</li> <li>より良い作品を制作しようとする向上心が感じられる。</li> </ul> <p>&lt;弱み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象を観察して特徴を捉える力が弱い。</li> <li>経験が乏しいため混色や重色する色が選べない。</li> </ul>	<p>&lt;どういう力を身に付けさせたいか&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平面や立体で対象を写實的に表現する力をさらに伸ばす。</li> <li>漢字の基本書体を理解させ、効果的に活用する力を身に付ける。</li> <li>制作の中で発見することや新しい表現手段を見つける力を一層伸ばす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象を観察してスケッチさせる。</li> <li>立体感を表す方法を習得させる。</li> <li>参考作品と自己の作品を照らし合わせて描写力をさらに向上させる。</li> <li>特徴を粘土で再現するために必要な用具や手順を考えさせる。</li> <li>混色カードを参考にして重色や混色の効果を確認させ、自然な色の再現に取り組ませる。</li> </ul>

< 2 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p>&lt;強み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作品の完成度を高めようと、創意工夫して取り組む生徒が多い。</li> <li>集中して取り組む生徒が多い。</li> </ul> <p>&lt;弱み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校で習得した彫刻・電動糸鋸の技能を生かす事に課題がある生徒がいる。</li> <li>深く考えようとする態度が弱い。</li> <li>次の制作段階に進めない生徒がいる。</li> </ul>	<p>&lt;どういう力を身に付けさせたいか&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>木彫スプーンは、実際に持って物をすくってみることで当初計画した「用と美」が追究出来ているか確認作業をさせる。</li> <li>広告や宣伝、啓発啓蒙で使われるポスターの効果的な表現は、どのようなものが多いのかを理解させる。</li> <li>ポスターにおいては、配色やレタリングなどで目立たせるための組み合わせを考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次はポスター制作だが見本となる作品を提示し、具体的な完成のイメージをもたせる。</li> <li>アイデアスケッチを見せ合い、どうしたら強い印象を与えられるか話し合わせ、構想を深めさせる。</li> <li>プリントを用いて説明し、制作上の注意点を確認し、強く意識させる。</li> </ul>

< 3 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p>&lt;強み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作品制作に、地道に取り組む生徒が多い。</li> <li>より良い作品を制作しようとする向上心が感じられる。</li> </ul> <p>&lt;弱み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>制作進度の個人差が大きい。</li> </ul>	<p>&lt;どういう力を身に付けさせたいか&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>原画をよく観察し、下描きで忠実に写し取る力を高める。</li> <li>下描きをもとに、絵具で忠実に色調やタッチを再現する力を高める。</li> <li>原画のもっている魅力を十分感じ取れる力を高める。</li> <li>放課後に補習を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助線を活用して見比べ、形や配置の精度を上げる。</li> <li>絵を逆さにするなど、普段と違う角度で見比べて間違いに気付かせる。</li> <li>混色カードを用いて、色を再現するための混色や重色の参考にさせる。</li> <li>絵の魅力を捉え、言葉や文で言語化する。</li> </ul>

## ＜ 1 年 ＞

現状と課題	具体的な改善策	学びに向かう力等を育むための方策
<p>＜強み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体を動かすことに積極的な生徒が多い。課題に対して前向きに取り組める。</li> </ul> <p>＜弱み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指示された課題には取り組めるが、自ら課題を見つけ主体的に取り組むことが難しい。</li> </ul>	<p>＜どういう力を身に付けさせたいか＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体性・・・運動、スポーツに積極的に楽しみながら主体的に取り組むことができる。</li> <li>・課題を明確にし、自分やグループの目標に向けて取り組む意識を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元のねらいや種目の特性をしっかりと学習し、知識と技能が関して身に付けられるようにする。</li> <li>・ICT機器を活用し視覚的にも分かりやすい授業を設定する。</li> </ul>

## ＜ 2 年 ＞

現状と課題	具体的な改善策	学びに向かう力等を育むための方策
<p>＜強み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動が好きで活発な生徒が多い。出来ないことに挑戦する習慣が身に付いている。</li> </ul> <p>＜弱み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の課題を客観的に分析することが苦手である。</li> <li>・継続した努力が苦手である。</li> </ul>	<p>＜どういう力を身に付けさせたいか＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思考、判断、表現・・・自己の技術を客観的に分析して、克服に向けて継続的な努力ができる。</li> <li>・学習カードを単元の評価基準ごとに具体的に記入する。グループの習熟度に応じた、練習の工夫。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各授業で目当てを明確にして、考えながら実践する習慣を身に付けさせる。①知識、技能②思考・判断・表現③主体的に学習に取り組む態度の関連性を意識した授業を展開する。</li> </ul>

## ＜ 3 年 ＞

現状と課題	具体的な改善策	学びに向かう力等を育むための方策
<p>＜強み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・練習に真剣に取り組める。生徒同士での教え合いが活発に行える生徒が多い。</li> </ul> <p>＜弱み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・違いを伝えることはできるが、課題に対する練習方法などを考える力が弱い。</li> </ul>	<p>＜どういう力を身に付けさせたいか＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に対する改善方法を選択し、自ら練習に取り組む力を育む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・失敗のパターンとそれに対する改善方法をいくつか示し、自ら分析する機会を設ける。</li> <li>・ICTを活用し、課題を視覚化しながら生徒の「分かった」を引き出すことのできる授業を工夫する。</li> </ul>

< 1 年 >

現状と課題	具体的な改善策	学びに向かう力等を育むための方策
<p>&lt;強み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着いた学習に取り組むことができる。</li> <li>・意欲的に学習に取り組むことができる。</li> </ul> <p>&lt;弱み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な技能が身についていない生徒がいる。</li> <li>・個々の作業進度の差が大きい。</li> <li>・学習内容によって意欲の差がある。</li> </ul>	<p>&lt;どういう力を身に付けさせたいか&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的、基本的な技能</li> <li>・課題に対し、個で解決策を考え、粘り強く取り組む力。</li> <li>・自ら進んで意欲的に学習に取り組む力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎、基本を繰り返し学習する場面を設定し、全員の力の定着を目指す。</li> <li>・個の能力に応じた課題を設定し、達成感を味わいながら、力を伸ばせるよう工夫する。</li> <li>・教材、教具を十分に揃え、生徒が意欲的に取り組める環境づくりを行う。</li> </ul>

< 2 年 >

現状と課題	具体的な改善策	学びに向かう力等を育むための方策
<p>&lt;強み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的なルールを守り、集中して学習に取り組むことができる。</li> <li>・班員で教え合いながら工夫して作業に取り組むことができる。</li> </ul> <p>&lt;弱み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知識が定着していない生徒がいる。</li> <li>・粘り強く取り組む力が弱い生徒がいる。</li> </ul>	<p>&lt;どういう力を身に付けさせたいか&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・確かな知識、技能の定着。</li> <li>・自ら考え、工夫しながら取り組める判断力や思考力。</li> <li>・課題に対し、粘り強く取り組む力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な技能や知識は、繰り返し学習する機会を設ける。また、小テスト等を定期的の実施することで、力の定着を目指す。</li> <li>・作業に見通しがもてるよう、学習カード等を工夫する。つまづいている原因と解決策が分かるよう資料を活用し、粘り強く取り組む力を育てる。</li> </ul>

< 3 年 >

現状と課題	具体的な改善策	学びに向かう力等を育むための方策
<p>&lt;強み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どの分野に対しても、意欲的に取り組む生徒が多い。</li> <li>・基礎的な技能が定着している生徒が多い。</li> </ul> <p>&lt;弱み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に対して、解決策を考える力が弱い。</li> </ul>	<p>&lt;どういう力を身に付けさせたいか&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知識をもとに、情報を活用し、自ら解決策を考えられる力。</li> <li>・知識や技能を実生活に生かせる実践力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思考に必要な資料を豊富に提示し、生徒が資料を活用しながら考えられる場面を設定する。</li> <li>・実生活で知識や技能を生かせる場面を挙げながら、生徒が具体的にイメージできるよう工夫する。</li> </ul>

< 1 年 >

現状と課題	具体的な改善策	学びに向かう力等を育むための方策
<p>&lt;強み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校時代に多くの表現や単語を身に付けてきている。(音として)</li> <li>・ナチュラルスピードの会話を聞いて、大まかな内容を理解できる。</li> <li>・英語らしい発音ができる。</li> </ul> <p>&lt;弱み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聞く、話すことの力に対して、書く、読むことの力のアンバランスさが顕著である。</li> </ul>	<p>&lt;どういう力を身に付けさせたいか&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校で学んできた表現を英語で正しく表記する力。</li> <li>・小学校で学んできた表現の文法的な積み。</li> <li>・即興の場面で英語で話す力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校で学んできた表現（生徒にとっては既習事項）を土台とし、それを派生させながら知識を増やしていく授業展開をする。</li> <li>・単元テスト、スペリングコンテスト、パート毎のワークシート、課題などを活用し、書く練習の機会を増やす。</li> <li>・帯活動のペアワーク、授業中のコミュニケーション活動ではアウトプット→インプットの流れを意識する。</li> </ul>

< 2 年 >

現状と課題	具体的な改善策	学びに向かう力等を育むための方策
<p>&lt;強み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の新しい単元の会話をある程度聞き取ることができる。</li> <li>・自宅学習で音読の回数を重ねることで、英語らしい発音を身に付けることができるようになってきた。</li> </ul> <p>&lt;弱み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英作文に苦手意識をもっている生徒がいる。</li> </ul>	<p>&lt;どういう力を身に付けさせたいか&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習した文を応用して、自分の言いたいことを表現する力（書く、話す）。</li> <li>・即興で話す力（やり取り）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書で既習の単語は更に力を入れて、覚えるだけでなく、使えるような練習をする。</li> <li>・授業での small talk を取り入れ、教師の質問に対して答える場面を作る。</li> <li>・基本文をしっかり身に付けさせ、アウトプットする練習をする。</li> </ul>

< 3 年 >

現状と課題	具体的な改善策	学びに向かう力等を育むための方策
<p>&lt;強み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経験したことのない課題に対して、粘り強く取り組むことができる。</li> <li>・模倣を経て、それを活用しながら自分なりに英語で表現をすることができる。</li> </ul> <p>&lt;弱み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スペリングの精度が低い。</li> <li>・リンキングやリダクションなどを意識した英語らしい発音が十分に身に付いていない。</li> <li>・文章の内容から、初めて見る語彙の意味などを推測する力。</li> </ul>	<p>&lt;どういう力を身に付けさせたいか&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・状況や場面に応じて、適切な表現を用いて相手とやりとりをする力。</li> <li>・自分の考えや意見を、英語を用いて相手に伝える力。</li> <li>・200語以上の文章を一定の時間で読み、内容を正確に理解する語彙力や読解力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書のユニット全体を通して身に付けさせる力の目標を決め、そこにつながる活動や教材を逆算して作成する。</li> <li>・生徒自身が、学習内容が身につけているかを確認できる機会(単元テストや文法ワークシート)を設定する。</li> <li>・授業で扱う教材やアクティビティには、生徒自身の考えや意見を表現させる課題を盛り込む。</li> </ul>